

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

イグサシンムシガの越冬調査結果（技術情報第14号）について（送付）

このことについて、平成16年の調査結果を取りまとめましたので、防除指導の参考資料としてご活用下さい。

イグサシンムシガの越冬調査結果（技術情報第14号）

1. 調査結果の概要（別紙1、2）

本年の越冬世代成虫の発蛾最盛日（4月）は平年よりやや遅く、発生量は平年よりやや少ないと予想されます。発蛾最盛日は、八代地域では4月20日頃、球磨地域では4月21日頃と予想されます。10㎡当たりの幼虫・蛹の合計虫数は、八代地域 3.0頭（平年 4.2頭）、宇城地域1.4頭（平年 6.9頭）、球磨地域 3.4頭（平年 5.1頭）と平年よりやや少ない発生です。

2. 防除対策

薬剤防除は、発蛾最盛日を中心に7日間隔で2～3回の薬剤防除を行います。4月の防除により第一世代幼虫および第二世代幼虫の発生を低下させ被害を軽減できますので、防除の徹底を行いましょ。

なお、予測した発蛾最盛日は、今後の気温の上下により多少前後し、地域による発生時期のばらつきもあります。圃場をよく観察し予察灯への飛来状況にも注意して、発蛾最盛日を確認して下さい。

問い合わせ先

熊本県農業研究センター
生産環境研究所病害虫研究室
予察指導係（病害虫防除所）

担当： 樋口

TEL 096-248-6490

FAX 096-248-6493